

巨匠 井上道義 ラスト in 福山

2024年12月指揮活動から引退 —。福山での最後の舞台は
「今はショスタコーヴィチは僕自身だ!」と語るオール・ショスタコーヴィチ・プログラム

指揮 井上道義
チェロ アレクサンドル・クニャーゼフ
管弦楽 京都市交響楽団
合唱 京響コーラス
(合唱指揮 福島 章恭)

【プログラム】 ショスタコーヴィチ
チェロ協奏曲第1番変ホ長調 Op.107
チェロ協奏曲第2番ト長調 Op.126
交響曲第2番ロ長調 Op.14
「十月革命」



チェロ:
アレクサンドル・クニャーゼフ
© Andrei Mustafayev

6月23日(日) 16:00開演 (15:15開場)

リーデンローズ 大ホール

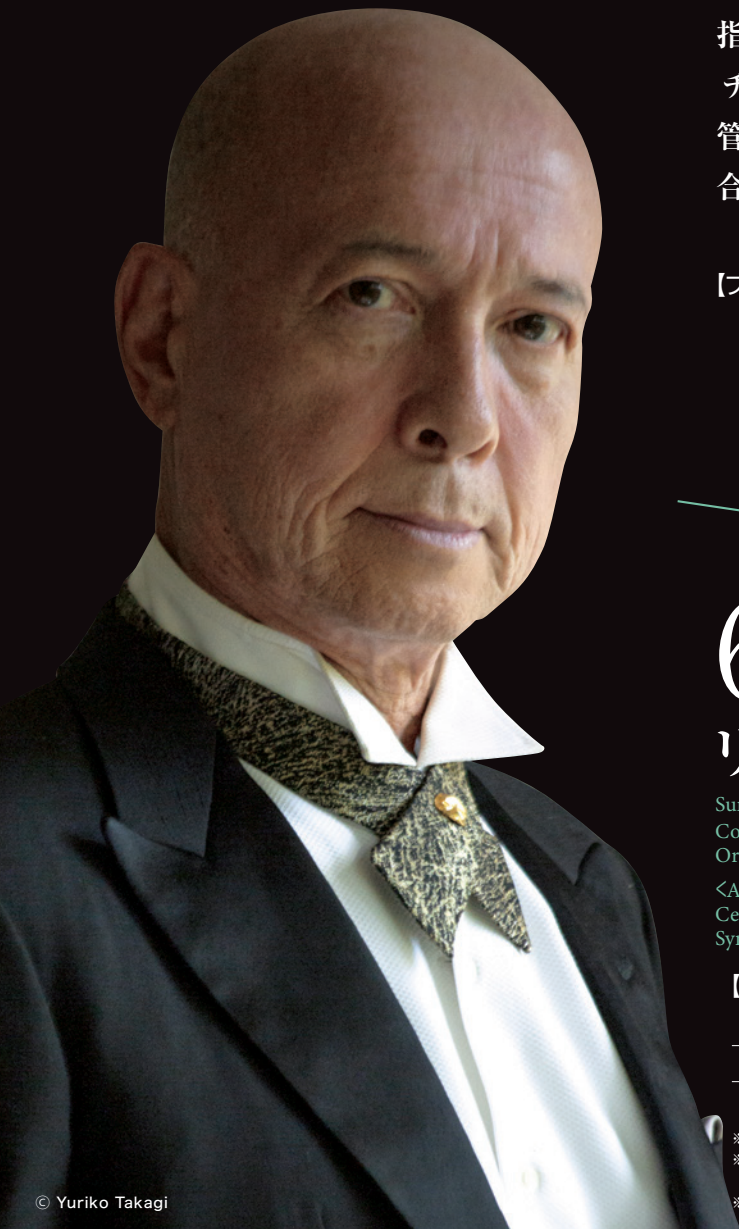
Sun. 23 June, 16:00 at Reed & Rose Main Hall, Fukuyama
Conductor: Inoue Michiyoshi, Violoncello: Alexander Kniazev
Orchestra: City of Kyoto Symphony Orchestra, Chorus: Kyoto Symphony Chorus
<All Shostakovich program>
Cello Concerto No.1 in E-flat major Op.107, Cello Concerto No.2 in G major Op.126
Symphony No.2 in B major Op.14 "A dedication to October"

【入場料】全席指定 (税込) ※未就学児入場不可

	S席	A席	B席	学生(3F)
1回券	¥6,000	¥5,000	¥4,000	¥2,000
ペア券	¥10,800	¥9,000	¥7,200	—

チケット発売日
メイト: 3/16(土)
一般: 3/23(土)


※学生のペア割引はございません。
※小中学生が学生料金席を購入する場合は、同伴の保護者(音楽教室等の指導者を含む)の割引適用は子供の数以下とし、B席が学生料金になります。
※高校生以上が学生料金席を購入する場合は保護者割引は適用されません。

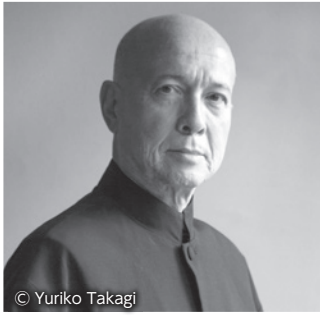


© Yuriko Takagi



© 井上写真事務所 井上嘉和

- 主催 福山市、公益財団法人 ふくやま芸術文化財団
- 協力 府中市、公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団 (京都市交響楽団)
- 特別協賛: 公益財団法人 小松育英会  エフピコグループ



© Yuriko Takagi

指揮：井上 道義

Conductor: Inoue Michiyoshi

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案。2014年4月病に倒れるが、同年10月に復帰を遂げる。近年では、全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」、大阪国際フェスティバル「バーンスタイン：ミサ」、「井上道義：A Way from Surrender ～降福からの道～」等を、いずれも総監督として率い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年NHK交響楽団より「有馬賞」、2023年「第54回サントリー音楽賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。2024年12月30日に指揮活動を引退する。



© James McMillan

チェロ：アレクサンドル・クニャーゼフ

Violoncello: Alexander Kniazev

6歳よりアレクサンドル・フェドルチェンコにチェロを師事、1986年モスクワ音楽院を卒業。1990年チャイコフスキー国際音楽コンクール第2位。スヴェトラーノフ、テミルカーノフ、ロストロポーヴィチ、フェドセーエフ、デュトワ、ヤルヴィ、マズアなど偉大なマエストロの強い信頼を得、ロシア国立響、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー響、ウィーン響、ロイヤル・フィル、バイエルン放送響、フランス国立管、エーテポリ響等と共演を重ねている。室内楽にも情熱を注ぎ、キーシン、レーピン、ルガンスキー、ベレゾフスキー、レオンスカヤ等と共演。ロシア国内はもちろん、コンサートヘボウ、ウィグモアホール、リンカーンセンター、ウィーン・ムジークフェライン、サル・プレイエル等の音楽の殿堂、ザルツブルク、タンブルウッド、ラ・フォル・ジュルネをはじめ数々の音楽祭からも招かれている。二度レコーディングしたバッハの無伴奏チェロ組曲をはじめ数々のCDはいずれも絶賛され、受賞も多い。また、オルガンガリナー・コズロフに師事、ヨーロッパ各地のカテドラル、コンサートホールでのリサイタル、「ゴルトベルク変奏曲」をはじめ数々のバッハ作品のレコーディングも絶賛されている。

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一（2022年3月まで）、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド（2023年3月まで）が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任。さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任予定。京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



© 井上写真事務所 井上嘉和

京響コーラス (合唱指揮：福島 章恭)

Kyoto Symphony Chorus

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響常任指揮者 & 音楽監督・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。これまでに、ベートーヴェン「第九」のほか、プーランク：スターバト・マーテル（井上道義指揮）、マーラー：交響曲第8番「千人の交響曲」（広上淳一指揮）、ヴェルディ：レクイエム（川瀬賢太郎指揮）、ブリテン：戦争レクイエム（高関健指揮）、ハイドン：天地創造（ペーター・ダイクストラ指揮）、フォーレ：レクイエム（広上淳一指揮）、マーラー：交響曲第2番「復活」（ジョン・アクセルロッド指揮）、ラター：レクイエム（原田慶太楼指揮）等で好演し、コロナ禍でも感染対策を実施して積極的な活動を続け、いずれも高い評価を得ている。現在、約130名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

～オーケストラ福山定期へのご支援をお願いいたします～

オーケストラ福山定期は、「福山らしい歴史・文化・芸術が大切に継承され、市民の誇りが醸成されているまち（福山みらい創造ビジョン）」の実現と、次世代を担う児童・生徒の健全な育成を目的に実施されるものです。年10回の公演のうち4公演は福山市・府中市内の中学2年生全員招待公演となります。ご賛同頂ける個人の方々向けの寄附金付きのチケットも販売いたします。寄附受納書は「免税証明書」として寄附金控除申請の際にご利用いただけますので、是非ご支援をお願い致します。

- 1回券各席種、ペア券各席種 / 1枚につき5,000円の寄附金
- 定期会員各席種 / 6公演で10,000円の寄附金

● チケット取扱所

【定期会員券、寄附金付チケット】

ふくやま芸術文化ホール オーケストラ福山定期オンラインチケット ▶

リーデンローズチケットセンター、神辺文化会館、沼隈サンパルのみで販売



【1回券、ペア券】上記に加えローソンチケット（Lコード 61531）、チケットぴあ（Pコード 261-473）

お問合せ：リーデンローズ TEL: 084-928-1810 〒720-0802 広島県福山市松浜町二丁目1番10号

藤倉大 作曲
ホールの新チャイム▶

